『依存』から『自立』へ…あなたの町『城南』です　みんなで創ろう住みよい町を !!

城南かわら版

上田城南地域協議会だより

平成26年11月１日発行
（第９号）

発行元：上田城南地域協議会
（事務局）市民参加･協働推進課
電話：75-2230

■ごあいさつ

上田市地域協議会が発足して４期８年が経過しました。城南地域においても毎月１回のペースで地域協議会を開催し、これまで７件市へ提言を行ってまいりました。先輩委員の皆さんのご尽力により、７項目からなる「地域まちづくり方針」が掲げられ、その方針に沿って活動していく中で、城南公民館新築、上田道と川の駅の充実、泉田・小泉両保育園を統合しての泉田保育園新築、神畑原峠線開通等々の具体的な成果にも関わることができました。

また、地域活性化を推進する市の附属機関として、城南地域の「わがまち魅力アップ応援事業」の審査に当たり、４期終了までに25件の事業を採択し、その団体の皆様に地域を活性化させる事業を推進していただいてまいりました。

今期（平成26～27年度）は、７項目からなる「上田城南地域まちづくり方針」を掲げた活動の最終期に当たります。まちづくり方針の中で、地域課題について３つの部会を設置し、解決に向けて活動してまいります。

そして、地域を活性化させるための「わがまち魅力アップ応援事業」への数多くの応募を皆さまにお願いし、期待をしてお待ちしております。

今期も住民の皆さまのご理解とご協力を賜ります様よろしくお願い申し上げます。

会長　**荒　井　貞　雄**

第5期の主な活動内容と委員紹介

「城南地域まちづくり方針」を具体的に発展させていくために、平成26～27年度も20名の委員が以下の３つの部会と広報委員会に所属して活動しています。

会長　荒井貞雄（築地）　副会長　宮下千元（吉田）

第１部会　「地域交通の利便性について」

部会長　牧野良平（千曲町）　副部会長　上原より子（川辺町）
石井真奈美（半過）　井出祐三郎（上田原）　西澤尚夫（御所）
増澤吉雄（中村）

第２部会　「これからの子育てについて」

部会長　柳澤政次（千曲町）　副部会長　宮本安芸子（下之条）
河野照美（千曲町）　新谷靖代（福田）　真野裕司（中之条）
山﨑須美江（小牧）

第３部会　「シニアの安全・安心なまちづくりについて」

部会長　岩下和江（下之条）　副部会長　石井信子（半過）
内山保男（御所）　大久保章（倉升）　関美佐子（神畑）
田玉利貞（御所）

広報委員

委員長　井出祐三郎（上田原）
岩下和江（下之条）　新谷靖代（福田）

（　　）は自治会名

第１部会の様子

第２部会の様子

第３部会の様子

わがまち魅力アップ応援事業実績報告

地名の由来と地域の歴史遺産を活かしたふるさとづくり事業（御所自治会）

① 事業の目的・意義

御所は大変歴史がありますが、現在は昭和40年以降に移り住んだ区民が多く、歴史や伝統を知らない人が増加し、地域の結びつきも薄いのが現状です。そこで「御所」の地名の由来と歴史遺産を調べ、史跡案内板の設置や冊子「御所のあゆみ」の発行等を行い、地域の歴史と自然文化を知っていただくと共に、後世に歴史遺産と伝統を継承していきます。

史跡めぐり案内板（公会堂前）

② 事業内容

平成23年度＝史跡めぐり案内板設置・古文書整理
平成24年度＝史跡説明板設置・歴史講演会開催
平成25年度＝原峠遊歩道の整備・冊子の編集
平成26年度＝冊子「御所のあゆみ」完成頒布

冊子「御所のあゆみ」

冊子編集委員

③ 成果・課題等

御所は、江戸時代以前は「上之条」、江戸時代から明治初めまでは「御所村」と呼ばれていました。なぜ「御所」という名前が付けられたのか、いろいろな説があるようですが（御所のあゆみに諸説あり）、本当の事はわかりません。このロマンは今後の研究課題として残しておきます。

はなもも大作戦（上田道と川の駅おとぎの里）

当事業は、①上田道と川の駅を含む半過地籍の持続的な景観整備　②事業に参加していただく皆様と共に、自分たちの暮らす地域や自然への愛着や興味を今以上に持つこと　③事業参加者間の交流や共に地域づくりを実践するための連携を図ること等を目的に実施しています。平成25年度には、千曲公園の雑木処理と広場整備、里山遊歩道の新設整備、各植樹エリアの整備を行い、上田道と川の駅施設内に210本（低木200本、高木10本）、千曲公園に210本（低木200本、中木５本、高木５本）、新設遊歩道109本（中木）、下半過20本（低木）、山口20本（低木）、合計569本の植樹をいたしました。また、「子どもたちに語り継ぐ“はなももの里づくり”」として、記念碑の設置と記念樹の植樹を行い、植樹に参加した近隣保育園・幼稚園の園児による「タイムカプセル」の埋設も行いました。このタイムカプセルは、子ども達が二十歳になる５月（15年後）に掘り出すことになっています。3月16日に開催した「植樹祭」には、上田市長、国土交通省長野国道事務所長、国土交通省千曲川河川事務所長、城南地域協議会長のご臨席も賜り盛大に実施することが出来ました。

共に整備し共に植え、そして守り育てていくこの活動が“地域の魅力”の一つにならんことを願い、今年も地元の皆様と共に新たな植樹と植樹個所及び周辺の除草等の作業を行っています。

近隣保育園・幼稚園のちびっこと植樹作業

半過自治会有志の皆さんと千曲公園で植樹

花ももの里の記念碑とタイムカプセル埋設

安全安心な地域づくりを進める事業（諏訪形自治会）

◎今まで進めてきている主な事業

※千曲川諏訪形河川敷環境整備事業

毎年３月、各種団体及び上田市消防団第六分団の皆さんのご協力をいただき、千曲川諏訪形河川敷・月見草植栽地周辺除草・中洲のニセアカシア除伐及び野焼きを実施しており、今年は大雪のため順延し、４月５日（土）に48名の参加をいただき実施しました。

野焼

※芝桜の里づくり事業

平成20年わがまち魅力アップ応援事業の補助金を活用してスタートし、芝桜の苗を培養地で育て、秋に自治会内各所に植栽を行い、毎年春には赤・桃色・白の花が咲き、私たちの心を和ませてくれています。そして、平成23年には、自治会の希望される皆様に芝桜の苗を配布してこの事業は終了しました。

坪８家庭菜園

※坪８家庭菜園事業

平成21年度からスタートした有休農地を活用しての坪８家庭菜園事業は今年で６年目となりますが、皆さん楽しみながらいろいろな種類の野菜を作り、収穫の喜びを味わっております。

また、平成24年度から土地提供者、野菜作り名人、耕作者、自治会役員による『芋煮会（収穫祭）』を開催しており、平成25年度は大人28名、子供5名の計33名に参加いただきました。

現在の区画数及び耕作者数　区画数…21区画　耕作者…14名　土地提供者…2名

芋煮会

※東山間伐事業

県の森林税を活用しての間伐事業の第一期分（旧諏訪形ゴルフ練習場東側）約３ヘクタールは平成21年に、また、第二期分（上田市霊園南側）約3.7ヘクタールは平成26年に終了しました。なお、第三期分については検討中であります。

小牧山トレイル整備とハイキング事業（小牧楽遊学クラブ）

平成20年８月から、小牧城址を中心に小牧山の整備活動をし、また地区の親睦を図る活動なども行っています。

元旦には、20人を超える参加者で小牧城址（上の城）に登り、初日の出を拝みました。市街地では少し早い７時５分過ぎに荒船山右側に朝日が昇ります。

元旦の様子

小牧城址（上の城）には、わがまち魅力アップ応援事業の補助を受けて建設した東屋もあり、気軽に登れる場所ですが佐久方面から上田市街地を一望できる穴場スポットと言えるでしょう。

上田わっしょい

環境緑化活動として、小牧城址などへ市から配布された桜・ツツジ等の植樹をしています。また、小牧山登山道の草刈や倒木の撤去等の整備も行っています。

上田わっしょいや真田幸村公出陣ねぷたに、地区から参加者を募って参加しています。特に上田わっしょいには０歳から72歳まで幅広い年代から、老若男女問わず60人を超える人達の参加がありました。

山賊鍋会

秋には、小牧城址へのハイキングと四箇牧神社への山賊鍋会を行っています。

■平成26年度「わがまち魅力アップ応援事業」のご紹介

7月30日の上田城南地域協議会での審査を経て、採択された事業をご紹介します。

審査会の様子

●天白山石段手摺り設置事業（３年継続事業の３年目）　下之条自治会

天白山石段（507段）の側面に、チェーンの手摺りを設置します。これにより、石段の上り下りが容易となり、更に安全が図られます。

●吉田いにしえ周遊道路の整備（５年継続事業の２年目）
吉田自治会　好きです吉田会

仙福寺境内を借り受け、整備し、散策の休憩ポイントとします。また、この無住寺の地域との関わりについての看板を設置します。更に、農作業と「農と吉田の歴史」を学び、高齢者と子供の絆づくりをし、平成27年５月に八十八夜祭を復活させ、住民融和を図ります。

《城南さんぽ道》　～上田原の巻～

石久摩神社→五輪塔（無名討死者の墓）→上田原資料館→観音寺鰐口

石久摩神社

石久摩神社　川辺小学校グラウンドから少し北に向かった場所に石久摩神社があり、祭神は諏訪大神の分神である軍神の建御名方命（たけみなかたのみこと）が祭られています。この神社の鎮座姿は、一般的な姿とは異なり表参道鳥居から見て拝殿・本殿が直角に鎮座しているのが特徴で、他にはあまり類を見ない配置となっています。

五輪塔

五輪塔（無名討死者の墓）　境内裏手より西に30mほど下がった田んぼの脇に上田原合戦無名討死者の墓が祭られています。尚、この合戦での戦死者は四千とも六千とも言われており、区内には幾つかの五輪塔が散在しているので当時の凄惨な戦いを偲ぶことができます。

上田原資料館　表参道鳥居から正面の通り（旧松本街道）を北に100mほど行くと、旧川辺村役場を活用した上田原資料館が見えます。この資料館には農、養蚕等、地域で活用された古道具、生活用具、遊具類が寄贈・展示されています。また、上田飛行場の掩体（えんたい）内の飛行機へ機銃掃射された薬莢や、朝鮮人労務者の飯場用具なども展示されており、当時の生活様式などを知る、大変興味が惹かれる展示内容です（閲覧は予約必要：TEL 24-4881　塩崎武彦氏）。

上田原資料館

観音寺鰐口　資料館を出て、更に北へ200mほど行くと、上田原合戦戦没将士菩提寺入口の石碑があり、観音寺の山門が見えます。寺院の入口正面に懸けてある鰐口（わにぐち）は、室町時代初期の永享９年（1437年）に聖英祐が浅井寺（青木村当郷）に奉納し、その後廃寺になった際に観音寺に移されました。銅製の鰐口は昭和43年（1968年）市指定文化財に指定されました。

観音寺鰐口

◇◆◇　あとがき　◇◆◇

城南かわら版第９号をお届けします。継続、実施されてきた「わがまち魅力アップ応援事業」の成果事例を中心にご紹介しました。４月より第５期城南地域協議会がスタートし各部会とも活発な活動をしております。城南かわら版は年間２回の発行を予定しておりますので、逐次活動状況などをお知らせいたします。

地域の課題やまちづくりに関するご意見、情報を事務局までお寄せ願います。